

# ○ カッコン（葛根）

## 語 源

クズ属 *Pueraria* は、コペンハーゲン大学の植物学教授、植物学者プエラリ Marc-Nicolas Puerari (1766ないしは1765-1845) から。種小名の *lobata* とは、ラテン語で「浅く葉裂した」の意で、浅く3裂した葉を描写したもの。

カッコン（葛根）は、葛（くず）の根のこと。奈良県吉野町の国柄（くず）の人が、根から取ったでんぷんを里に出て売ったため、それが「クズ」になり、植物名も「クズ」になったという説がある。



## 基 原

*Pueraria lobata* (Willd.) Ohwi クズ  
マメ科 つる性木本

## 薬用部分

根

根を掘りとり、コルク皮を剥いで縦割し（板葛根）、又は約5～7mm立方のさいころ形に切って（角葛根）乾燥する。灰白色ででんぷんに富んだものが良品とされる。

クズは今日では薬用よりも、製菓用として多く用いられる。昔はクズのつるを材料にして葛布（くずふ）に織って着物にしたり、葉を家畜の飼料にした。葛布は今も各地に残る民芸織物に利用され、掛川（静岡）など有名。クズは秋の七草のひとつでもある。



## 産 地

中国、韓国、日本（長野、奈良、群馬など）

## 主な成分

イソフラボノイド類：ダイゼイン、ダイジン、プエラリン、  
ゲニステイン、ホルモノネナンなど  
サポニン類：ソヤサポゲノール配糖体、クズサポゲノール配糖体  
その他：でんぷん、プエロシドA、B、D、マンニトール など

## 主な薬効

鎮痙、解熱

## 代表的処方

漢方処方用薬である。かぜ薬、解熱鎮痛消炎薬とみなされる処方及びその他の処方に少数例配合されている。

### 【葛 根 湯】

カッコントウ

体力中等度以上のものの次の諸症：感冒の初期（汗をかいていないもの）、鼻かぜ、鼻炎、頭痛、肩こり、筋肉痛、手や肩の痛み

（処方内容） 葛根／麻黄／大棗／桂皮／芍薬／甘草／生姜

### 【葛根黄芩 黄連湯】

カッコンオウゴンオウレントウ

体力中等度のものの次の諸症：下痢、急性胃腸炎、口内炎、舌炎、肩こり、不眠

（処方内容） 葛根／黄連／黄芩／甘草

### 【桂枝加 葛根湯】

ケイシカカッコントウ

体力中等度以下で、汗が出て、肩こりや頭痛のあるものの次の症状：かぜの初期

（処方内容） 桂皮／芍薬／大棗／生姜／甘草／葛根

### 【升麻葛根湯】

ショウマカッコントウ

体力中等度で、頭痛、発熱、悪寒などがあるものの次の諸症：感冒の初期、湿疹・皮膚炎

（処方内容） 葛根／升麻／生姜／芍薬／甘草

※参考文献：「生薬単」「日本薬局方」「中薬大辞典」「牧野和漢薬草大図鑑」「和漢薬の事典」「家庭の民間薬・漢方薬」「一般用漢方製剤承認基準」

⚠ この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。



健やかな未来を創る自然の力

福田龍株式会社

（お問い合わせ） 〒530-0047大阪市北区西天満1-5-11

TEL：06-6364-5861 FAX：06-6364-6562

URL：www.fukudaryu.co.jp